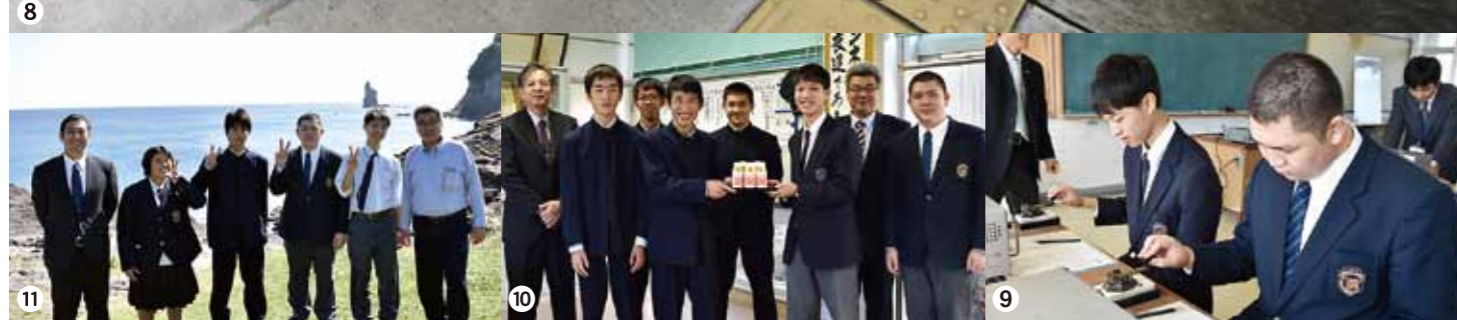




稚内市民訪問団の



⑧枕崎駅で記念撮影をする稚内市民訪問団 ⑨モールス信号に挑戦する稚内高校生 ⑩稚内高校から鹿児島水産高校へ稚内牛乳を贈呈 ⑪立神岩をバックに記念撮影をする稚内高校生と鹿児島水産高校生



みなさんようこそ枕崎へ



④歓迎交流会参加者で集合写真 ⑤迫力のある演奏を披露する火の神乙女太鼓 ⑥稚内市から枕崎市へ記念品を贈呈 ⑦歓迎交流会へ稚内牛乳を贈呈

本市と北海道稚内市との友好都市締結5周年記念事業の一環として、10月22日、23日に工藤広稚内市長と稚内市民訪問団20名が、枕崎市を訪れました。

稚内市民訪問団を熱烈歓迎

10月21日の夜に鹿児島入りした稚内市民訪問団は、22日に南九州市知覧町を観光した後、西大山駅で列車に乗車し、枕崎へ向かいました。枕崎駅には神園征枕崎市長をはじめ、稚内市のみなさん枕崎におじゃつたもんせ」と書かれた横断幕や豆力ツオのぼり、手作りの旗を持った、たくさんの方が訪問団を迎えようと集まりました。列車が午後0時53分に枕崎駅に到着すると、盛大な拍手で市民訪問団を迎えました。

記念撮影を終え、駅舎前広場に移動すると、LCLのメンバーが、稚内で親しまれている「北海つべん踊り」に合わせたオリジナルのダンスで市民訪問団を歓迎しました。

その後市民訪問団は、火之神公園や平和祈念展望台、明治蔵、青空美術館、南浜館を観光し、枕崎の地を堪能しました。

夜はお魚センターで歓迎交流会が行われました。市民訪問団のほか市内各団体や6月に稚内市を訪れた枕崎市民訪問団のメンバーが参加し、カツオのタタキや腹皮の塩焼きなどの枕崎グルメを堪能しながら交流を深めていました。交流会では、稚内市から本市へ記念品が贈られたほか、火の神乙女太鼓の演奏などのアトラクションが行われました。

交流会終了後、工藤市長は「市民のみなさんに温かいお出迎えと対応をしていただいたことに心から感謝しています。これがしっかりと次の交流につながっていくとみんな実感しました。これからも末永いお付き合いをお願いしたいと思います」と話しました。

23日は、市民訪問団は鯉節工場や高度衛生荷さばき所などの施設を見学し、枕崎の地場産業に触れました。そして、午後0時50分に、多くの市職員や関係者に見送られながら枕崎を後にしました。

稚内高校生と水産高校生と交流

稚内高校商業クラブの三上

童平さんと三上順己さん、村上究教諭の3名が、23日に鹿児島水産高校を訪れました。

鹿児島水産高校生徒代表で6月に稚内市を訪れた黒江晃生さんが「今後も稚内市と枕崎市が、鹿児島水産高校と稚内高校がさらに交流を深めていくようにお互い頑張っていきましょう」と歓迎の言葉を述べ、稚内高校の三上童平さんが「何千キロも離れた高校生同士が交流できることをうれしく思います。私たちはこれからも稚内と枕崎のPRを両市の友好を深めるために頑張っていま

す。これからもよろしくお願ひします」とあいさつしました。その後、稚内高校から鹿児島水産高校へ稚内牛乳の贈呈があり、同校の施設見学を行いました。

午後からは、鹿児島水産高校生が企画した観光地巡りを行い、稚内高校の生徒たちは枕崎についての理解を深めました。

interview



稚内市民訪問団 吉井 恭子さん(73)

鹿 児島には何度か来たことがあったのですが、枕崎は初めてでした。市民の皆さんの温かい歓迎ぶりにまず感動しました。いろいろ回ってみて活気のあるまちで、芸術や文化も素晴らしいと思います。カツオのタタキが大好きなので楽しみにしていました。食べ物はすべておいしかったです。皆さんが温かく迎えてくださったことが一番印象に残っていて、今度枕崎の皆さんが稚内に来たときはお迎えに上がりたいなと思っていますので、ぜひお待ちしております。

枕崎市 稚内市
友好都市締結5周年記念